

本規約と TNM 分類の対照表

大腸癌取扱い規約（第9版）		TNM 分類（第8版）		
壁深達度	TX	壁深達度の評価ができない	TX	原発腫瘍の評価が不可能
	T0	癌を認めない	T0	原発腫瘍を認めない
	Tis	癌が粘膜内にとどまり、粘膜下層に及んでいない	Tis	上皮内癌：粘膜固有層に浸潤
	T1a	癌が粘膜下層（SM）までにとどまり、浸潤距離が 1000 μ m 未満である	T1	粘膜下層に浸潤する腫瘍
	T1b	癌が粘膜下層（SM）までにとどまり、浸潤距離が 1000 μ m 以上であるが固有筋層（MP）に及んでいない		
	T2	癌が固有筋層まで浸潤し、これを越えない	T2	固有筋層に浸潤する腫瘍
	T3	癌が固有筋層を越えて浸潤している 漿膜を有する部位では癌が漿膜下層にとどまる 漿膜を有しない部位では癌が外膜までにとどまる	T3	漿膜下層、または漿膜被覆のない結腸もしくは直腸の周囲組織に浸潤する腫瘍
	T4a	癌が漿膜表面に接しているか、またはこれを破って腹腔に露出しているもの	T4a	臓側腹膜を貫通する腫瘍
T4b	癌が直接他臓器に浸潤している	T4b	他の臓器または組織に直接浸潤する腫瘍	
注：EX のうち脈管/神経侵襲病巣は壁深達度として判定する		注：腫瘍デポジットは壁深達度の判定には用いない		
リンパ節転移	NX	リンパ節転移の程度が不明である	NX	領域リンパ節の評価が不可能
	N0	領域リンパ節転移を認めない	N0	領域リンパ節転移なし
	N1	腸管傍リンパ節と中間リンパ節の転移が 1-3 個	N1	1-3 個の領域リンパ節転移
	N1a	腸管傍リンパ節と中間リンパ節の転移が 1 個	N1a	1 個の領域リンパ節転移
	N1b	腸管傍リンパ節と中間リンパ節の転移が 2-3 個	N1b	2-3 個の領域リンパ節転移
			N1c	漿膜下層または腹膜被覆のない結腸もしくは直腸の周囲軟部組織内に腫瘍デポジットすなわち衛星結節があるが、領域リンパ節転移なし
	N2	腸管傍リンパ節と中間リンパ節の転移が 4 個以上	N2	4 個以上の領域リンパ節転移
	N2a	腸管傍リンパ節と中間リンパ節の転移が 4-6 個	N2a	4-6 個の領域リンパ節転移
	N2b	腸管傍リンパ節と中間リンパ節の転移が 7 個以上	N2b	7 個以上の領域リンパ節転移
N3	主リンパ節に転移を認める。下部直腸癌では主リンパ節あるいは側方リンパ節に転移を認める			
注：EX のうち ND (tumor nodule) はリンパ節として取扱い、ND の個数はリンパ節転移個数に計上する。		注：腫瘍デポジットのうちリンパ節が癌に置換されたものと病理医が判断するもののみをリンパ節として取扱い、その数をリンパ節転移個数に計上する。		

遠隔転移	M0	遠隔転移を認めない	M0	遠隔転移なし
	M1	遠隔転移を認める	M1	遠隔転移あり
	M1a	1臓器に遠隔転移を認める	M1a	1臓器に限局する転移で腹膜転移なし
	M1b	2臓器以上	M1b	2臓器以上
	M1c	腹膜転移を認める	M1c	腹膜への転移
		M1c1 腹膜転移のみ M1c2 腹膜転移と他臓器転移		
<p>EX: EXには脈管/神経侵襲として限局した病巣と、それ以外の病巣(脈管侵襲や神経侵襲が主たる病巣ではない非連続性癌進展病巣: ND)がある(32頁)。</p> <p>壁深達度の判定に関して、TNM分類は脈管侵襲病巣を考慮しない点で本規約と相違している。例えば、直接浸潤がSMにとどまる癌でMPに静脈侵襲病巣がある場合の壁深達度は、本規約では最深部である静脈侵襲病巣を評価してpT2であるが、静脈侵襲病巣を考慮しないTNM分類ではpT1である。この場合の壁深達度と脈管侵襲病巣の情報はそれぞれ以下のように表記される。</p> <p>本規約: pT2(V)-SM (11頁)</p> <p>TNM分類: pT1, V1 (muscularis propria)</p> <p>なお、神経侵襲病巣はTNM分類においても壁深達度として判定される。</p>			<p>腫瘍デポジット†(衛星結節)は原発腫瘍の腸管周囲脂肪組織のリンパ流路に独立して存在する肉眼的または顕微鏡的な腫瘍結節で、原発巣からは非連続的であり、かつ組織学的にリンパ節構造の遺残や脈管または神経構造が特定できないものである。H&E、弾性線維などの染色で血管壁が特定できる場合は、静脈侵襲(V1/2)、またはリンパ管侵襲(L1)と分類するべきである。同様に、神経構造が特定できる場合は、神経周囲浸潤(Pn1)と分類するべきである。腫瘍デポジットの存在により原発腫瘍のTカテゴリーは変わらないが、病理学的検査ですべての領域リンパ節が陰性であれば、リンパ節の状態(N)はpN1cとなる。</p> <p>†原文は tumour deposits</p>	

* TNM 悪性腫瘍の分類 第8版 日本語版, 金原出版, 2017年より引用